

since 1981
作業ユニ・エール
 ユニ・エール 検索
 トムス株式会社 ユニ・エール事業部
 TEL:050-1743-3189

Japan
 Trucking
 Association



広報 とらつく

毎月1日・15日発行
11月15日号
 発行所 公益社団法人 全日本トラック協会
 〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番地5
 全日本トラック協会会館
 ☎(03) 3354-1029 (総務部広報室)
 https://jta.or.jp

令和4年度第2次補正予算が閣議決定

われわれの熱き要望がしっかりと実る!!

「大口・多頻度割引の拡充措置の延長」 「燃料油価格激変緩和対策事業の存続」

政府は、10月28日に閣議決定した「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」(3面に別掲)を踏まえて、令和4(2022)年度の第2次補正予算案を11月8日に閣議決定した。エネルギー等の価格高騰により厳しい状況にある事業者等への負担軽減などを盛り込んだ内容となっている。

政策別の柱は、「物価高騰・賃上げへの取組」、「円安を活かした地域の『稼ぐ力』の回復・強化」、「新しい資本主義」の加速」など。このうち、トラック運送事業に關わりの深い項目では、「燃料油価格激変緩和対策事業の存続」が、また、「高速道路料金大口・多頻度割引の拡充措置の延長」には78億円が盛り込まれた。

政府は、開会中の臨時国会に今回の補正予算案を提出し、早期の成立を目指すこととしている。

この度の補正予算では、燃料油価格激変緩和対策事業の存続と大口・多頻度割引の拡充措置の延長が措置されるなど、令和3年12月2日に開催した「燃料油価格高騰経営危機突破総決起大会」を端緒に、坂本克己会長を先頭に全日本トラック協会がリーダーシップを取ることで、自動車関係団体とともに、積極的かつ精力的に要望活動を展開してきた成果が実ったものである。



古賀誠全国道路利用者協会会長(左)に要望書を手渡す坂本克己全ト協会会長(右)

今回、閣議決定された令和4年度第2次補正予算のうち、トラック運送業界に關わりの深い項目では、燃料油の卸価格を抑制するために石油元売各社へ補助を行うことで、小売価格の急騰を抑制し利用者の負担を軽減することを目的として実施されている「燃料油価格激変緩和対策事業の存続」が盛り込まれた。

燃料油価格高騰に対しては、燃料油価格激変緩和対策事業が行われていることで、本来200円程度に上昇するガソリン価格が170円程度に抑制されてきた。今回の補正予算では、来年度前半にかけて引き続き燃料油価格激変緩和対策事業が講じられることとなった。本来今年9月末で期限となっていた同事業について、全ト協など自動車関係団体の強力な要望活動により、補助額35円、ガソリン基準価格168円を今年12月末まで延長されているが、これをさらに存続する。なお、来年1月以降については、補助額を緩やかに調整しつつ実施し、来年6月以降は補助を段階的に縮減する。一方で、高騰リスクへの備えを強化するとして、また、高速道路料金大口・多頻度割引については現在、ETC2.0を利用するトラック運送事業者に対して、最大割引率を40%から50%へ拡充する措置が実施されているが、その期限を令和6年の3月末まで延長するために、78億円が措置された。

さらに、国土交通省関係では、事業用自動車における電動車の導入支援に20・5億円が措置された。電動車については、ハイブリッドトラック(HV)は通常車両との差額の3分の1、電気トラック(EV)は車両価格の4分の1、燃料電池トラック(FCEV)は同3分の2について補助される。この他にも、物流GX(グリーン・トランスフォーメーション)、災害対策の推進に12・7億円、物流DX(デジタル・トランスフォーメーション)や標準化の推進に1億円、中小トラック運送事業者の労働生産性向上に向けたテールゲートリフター等導入等支援事業に2億円(予約受付システム、原価管理システム、免許等取得支援など含む)、自動車運送事業の各種申請手続のオンライン化に伴う申請手続の最適化・効率化のための調査に1億円などが盛り込まれている。

なお、「燃料油価格激変緩和対策事業の存続」および「大口・多頻度割引の拡充措置の延長」については、坂本克己会長を先頭に、政府・与党などに対して精力的に要望活動を展開しており、この令和4年度第2次補正予算の結果は、トラック運送業界の要望が実ったものといえる。

浅井副会長が適用期限を迎える自動車関係諸税の特例措置の延長等を強く要望



トラック運送業界からの最重要要望事項について説明する浅井副会長(11月2日、自民党本部)

自由民主党運輸・交通関係団体委員会 「予算・税制等に関する政策懇談会」

全日本トラック協会は11月2日、自由民主党運輸・交通関係団体委員会(長坂康正委員長)「予算・税制等に関する政策懇談会(航空・自動車・鉄道・運送関係)に出席し、燃料油価格激変緩和措置の延長、自動車税制および予算関連、物流基盤の整備、高速道路料金等の引下げ、改正貨物自動車運送事業法に係る「荷主対策の深度化」(標準的な運賃・時間措置延長)など、トラック運送業界からの最重要要望事項を説明した。

当日全ト協からは、浅井隆副会長(税制委員長)が出席。浅井副会長は、特に、令和5年3月で期限切れとなる中小企業投資促進税制の延長や、令和5年度税制改正の争点となる自動車重量税のEコカー減税、自動車税環境性能割などの特例措置の延長を強く要望した。

また、物流基盤の整備として、高速道路ネットワークや休憩・休息施設、中継物流拠点の整備・拡充を要望したほか、高速道路料金等の引下げについても要望を行った。

受章おめでとうとうございます

令和4年秋の叙勲



旭日小綬章 川上 和人氏



旭日小綬章 角田 正一氏



旭日双光章 原岡 謙一氏



旭日双光章 中川 進治氏

秋の叙勲に栄えの4氏

令和4年「秋の叙勲」(叙勲) 受章者が、11月3日に発表された。受章者は、次

◎旭日小綬章 川上和人氏(かわかみ・かずと) 鳥取県トラック協会会長(角田 正一氏)

▽角田正一(つのだ・しやういち) 元千葉県トラック協会会長(角田 正一氏)

▽原岡謙一(はらおか・けんいち) 兵庫県トラック協会会長(原岡 謙一氏)

▽中川進治(なかがわ・しんじ) 三重県トラック協会副会長(北進 運輸(株)社長・77歳)

令和4年「秋の叙勲」(叙勲) 受章者が、11月3日に発表された。受章者は、次

◎旭日双光章 原岡謙一(はらおか・けんいち) 兵庫県トラック協会会長(原岡 謙一氏)

▽中川進治(なかがわ・しんじ) 三重県トラック協会副会長(北進 運輸(株)社長・77歳)

グリーン経営認証で環境にやさしい取組を!

認証取得後8トン以上のトラックで3.2%の燃費向上、車両故障件数21.1%減少。交通事故発生件数25.9%減少など(グリーン経営認証取得による効果・2020年版より)環境改善にとどまらない効果。

対象業種	日時	会場	主催	問合せ先
トラックバス、タクシー	12月8日(木) 13:30~16:30	福井県協ビル 604号室(6階) 福井県福井市大手3丁目7番1号	中部運輸局	エコモ財団 グリーン経営講習会係 ☎03-5844-6276 ※ガイダンスの2番を 押してください
トラックバス、タクシー	12月13日(火) 13:30~16:30	和歌山県トラック協会 大会議室(3階) 和歌山県和歌山市湊1414	近畿運輸局	

※講習会は、エコモ財団の担当者がグリーン経営について説明します。既に認証登録をされている事業者の皆様もご参加いただけます。

グリーン経営ホームページ <https://www.green-m.jp/>
 「認証基準」、「取組事例」など詳細は [グリーン経営](#) で検索



公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団
 〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル10階
 (略称:エコモ財団) グリーン経営事務局 ☎03-5844-6276 <http://www.ecomo.or.jp>

11月10日から開始! 先着50社限定! 最大で14万円優待値引き!

キャンペーンでお得に導入!

期間 2023年1月10日(火)まで

2023年3月31日までに導入が必要で
 各種補助金と併用できません

製品 “一番星”運送システムVer.8

こんな機能を搭載!
 入力画面は1つに集約!

- 実績管理
- 安全管理
- 請求管理
- 車両管理
- 乗務員管理
- 備車管理
- 給与管理
- 経費管理

問合せ先
052-205-8851

製品詳細は システムギア 一番星 で検索

システムギア株式会社
 拠点 東京・名古屋・大阪・福岡

実機デモを無料で実施いたします。
 お問い合わせお待ちしております。



お問合せ先

インボイス制度にも対応!

「二ニュース・ターミナル」(トラック協会二ニュース)

第2回「総務委員会」

令和5年度事業計画

骨子等を審議

全日本トラック協会は、11月8日、令和4年度第2回「総務委員会」(小委員会)を開催し、令和5年度事業計画(案)を審議した。

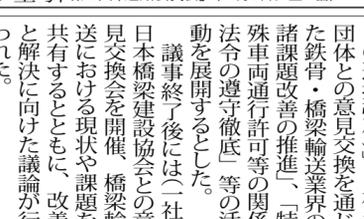


去る10月11日に逝去された田中亨副会長に対し、出席委員が黙とうをささげた

第5回「道路委員会」

高速道路の深夜割引について審議

第5回「道路委員会」(寺岡洋一委員長)が、11月8日に開催された。審議事項として、深夜割引の見直しについて審議された。

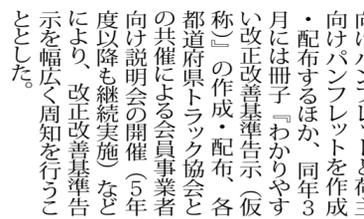


第5回「道路委員会」(11月8日、全協協)

第56回「物流政策委員会」

改正改善基準告示の施行に向けて対応を協議

第56回「物流政策委員会」(馬渡雅敏委員長)が、10月28日に開催された。改正改善基準告示の施行に向けて対応を協議した。

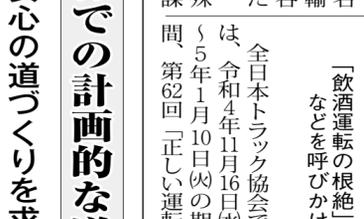


第56回「物流政策委員会」(10月28日、全協協)

第52回「鉄骨・橋梁部会」

特殊車両の通行に関する要望活動を展開

第52回「鉄骨・橋梁部会」(宮地部会長)が、10月31日に開催された。特殊車両の通行に関する要望活動を展開した。



第52回「鉄骨・橋梁部会」(10月31日、全協協)

第62回「正しい運転・明るい輸送運動」

実施事項

- (1)飲酒運転の根絶 (2)追突事故及び交差点における事故防止の徹底 (3)過労運転防止の徹底 (4)確実な点呼の実施 (5)携帯・スマートフォンの使用禁止の徹底 (6)健康診断の受診の徹底 (7)荷役作業時の安全確保の徹底 (8)高速道路における事故防止の徹底 (9)車両の安全性確保の徹底 (10)降積雪期における輸送の安全確保の徹底 (11)正しい積付け・固縛方法の徹底 (12)エコドライブ及びアイドリング・ストップの徹底 (13)運輸安全マネジメントの徹底 (14)安全意識の高揚 (15)輸送品質・サービスの向上

全協協行事予定

- 11月15日(土) 全協協行事予定 (11月15日～30日) 全協協代表者協議会

法令クイズ

- 1 他の車両をけん引する際は、尾灯及び番号灯は点灯しなくてもよい。(○×) 2 夜間に対向車とすれ違うときは、必要に応じて前照灯を減光するか下向きに切り替える。(○×) 3 昼間でもトンネルの中など100メートル先(高速道路では200メートル先)が見えないような場所を走行するときは、前照灯などを点灯しなければならない。(○×) 4 一般道路において、夜間にやむを得ず道路に駐車するときは、非常点滅表示灯などを点灯する。(○×) 5 夜間、トラックは走行中、室内灯をつけて視界を確保する。(○×)

トラックドライバーのための安全運転教室



「安全・安心の道づくりを求め、安全運転の重要性を再確認してください。」

第119回 事故多発!安全運転の基本を忘れず

山道で観光バスが横転したり、人気タレントが道路を横断中に車にはねられ死亡するなど、大きなニュースになる交通事故が多発しています。12月の繁忙期に備えてもう一度、安全運転の基本を再確認しておきましょう。

●下り坂ではフットブレーキの使い過ぎに注意

Aさん「少し前も愛知県でのバス横転・炎上事故の話をしたけれども、次は静岡県で観光バスの横転事故があったね」 Bさん「うん。僕たちトラックとは違うけれども、同じ緑ナンバー同士だからいいんだけど、下り坂でブレーキが利かなくなったという報道があるから、『フェード現象』なんか起こったのかな?」

●横断歩行者には細心の注意を払おう

Aさん「そして、直近ではかつて一世を風靡したグループのメンバーが道路横断中に車にはねられ、数日後に死亡する事故があった」 Bさん「僕も好きだったグループだから、少なからずショックを受けているよ」

●繁忙期に備え、安全運転を意識づけよう

Aさん「これから、繁忙期に入る。世間を騒がす大きな事故も発生しているだけでなく、今年は行動制限がかかっていたここ数年に比べて、人・モノの移動が多くなりそうな気配だから、一層の注意が必要だね。Bさんは大丈夫だと思うけれど」 Bさん「その慢心が危険なんだよ。そうならないように運転席に座って、『今日も安全運転で』と自分に言い聞かせているよ」

●冒頭 主催者を代表して

冒頭 主催者を代表して、皆様方と大きな声を上げて、政府に対して発信し、関係機関に対して積極的に働きかけてまいりたいとあじうした。

●決意

「国民の生命・財産を守り、社会の重要な機能を維持するため、国土強靭化促進法による安全・安心の確保、コロナ禍からの回復に向けた地域経済の復興、地方創生による持続可能な社会の実現に向けて、これを早期に実現させるため、次に掲げる項目を計画の重点として取り組むこととする。」



「安全・安心の道づくりを求め、安全・安心の確保」(11月9日、砂防会館シェンパッパ・サポ)

「安全・安心の道づくりを求め、安全・安心の確保」(11月9日、砂防会館シェンパッパ・サポ) 全国各地から多くの道路利用者や自治体関係者が出席した。

「安全・安心の道づくりを求め、安全・安心の確保」(11月9日、砂防会館シェンパッパ・サポ) 全国各地から多くの道路利用者や自治体関係者が出席した。

「安全・安心の道づくりを求め、安全・安心の確保」(11月9日、砂防会館シェンパッパ・サポ) 全国各地から多くの道路利用者や自治体関係者が出席した。

「燃料高騰対策」価格転嫁対策 など盛り込む

新総合経済対策を閣議決定

政府は10月28日、新たな総合経済対策として「物価高騰・経済再生」の実現のための総合経済対策を閣議決定した。

物流が直面する諸課題解決に向け議論展開 第3回「持続可能な物流」の実現に向けた検討会

出前委員からは、「持続可能な物流の実現に向けて、トラック運送事業者が一枚岩となって取り組んでいくことが必要」と、物流効率化によってカーボンニュートラルを実現する

「ホワイト物流」推進運動セミナー オンラインセミナーにて開催(全6回)

2022年度エコドライブ活動コンクール」を開催

「広報とらつく」からのお願い 交通・運転マナーを守って! プロトラックドライバーは一般ドライバーの見本に

サイバー攻撃が顕在化・高度化している。経済産業省では、中小企業等におけるサイバー攻撃による被害を防止する

省エネ・節電対策を呼びかけ 「冬季の省エネ」の取組について

省エネ推進事業(4)の公募を、11月21日(月)から開始する

違反車両26台に対し行政指導を実施

野村哲郎農林水産大臣は9月29日、「食品製造流通事業者の皆様へ」を公表した

農水大臣が3分の1ルール見直し要請

省 一部を除き12月から 労働率が通常時対応に 雇用調整助成金の特例措置等

表 中小企業における雇用調整助成金・休業支援金等の助成内容

表 休業支援金等

改正「改善基準告示」に関する「Q&A」を募集

「自動車運送事業者の労働時間等の改善のための基準」(改善基準告示)について

11月「しわ寄せ」防止キャンペーン

トラック運送事業者のための 経営のヒント

物流ジャーナリスト 森田 富士夫

トラック運送業界とSDGs

エスディーズ

第8回

持続可能なトラック運送業界の実現を目指して セイコー運輸株のSDGs推進への取り組み

本特集では、SDGs(持続可能... 今回、埼玉県寄居町のセイコー運輸株(清水浩一代表取締役)の取り組みについて紹介いたします。

「清らかな水」など自然環境豊かな寄居町 社長の自然環境保護活動がSDGsの端緒に



清水 浩一
代表取締役

「水」の清らかな水は町の誇りとなっており、昭和60年に環境庁(現・環境省)から、町内の風布川・日本水が「名水百選」に選ばれている。このよ...

配車効率向上等を通じCO2排出量を削減 資源再利用を進めて環境負荷を軽減



同社の物流センターの敷地内に開設している「よりよいトンボ自然館」

以前から自然環境保護への活動に積極的に行っていたこと、清水社長はSDGsの意識を強くもっていた。こうした中で、埼玉県...

「SDGs」という共通の概念によって 荷主や地域住民から「より信頼される」事業者になる

SDGsという概念が生まれる前から自然保護や地域貢献に取り組んできた同社。埼玉県のSDGsパートナー登録以降、荷主や地域住民などから同社のSDGsへの取り組みを評価されることが増えてきている。



町内では桜の植栽作業が続けられており、同社でも従業員に桜の苗木を渡すなどの取り組みを行っている

表 同社におけるSDGs達成に向けた宣言書(抜粋)

- ・SDGs達成に向けた取り組み方針
 - ①地域の自然保護活動に参加し、緑化および小動物保護に努めます。
 - ②ゴミを収集した上、20種以上に細かく分別。分類ごとに中間処理専門業者へ排出し、資源の再利用に努めます。
 - ③同業他社とのネットワーク活用による効率的な配車およびモーダルシフトによる鉄道を活用し、CO2を削減します。

・SDGs達成に向けた重点的な取り組み

環境	CO2削減(同業他社との全国ネットワークを有効活用し、配車効率を向上させることにより、CO2を削減する)
社会	自然保護および環境保全活動(地元寄居町で活動している「一年中桜に出会える町より実行委員会」というボランティア団体の活動拠点について、社内施設を無償で提供。さらに、活動に参加し、植樹している)
経済	モーダルシフトの活用(遠方への配送は鉄道を利用し、コスト削減および労働時間短縮、さらにはCO2を削減する)

「当社では、ホームページでSDGsに関する取り組みを紹介するとともに、社内に登録証を掲出するなど、SDGs達成に向けての取り組みを社内外にアピールしています。SDGsに対する理解の広がりとともに、荷主企業からも評価をいただくようになってきました。一方、もともと私自身が様々なボランティア活動を通じて、主導的に環境保護や地域貢献に取り組んでおり、「埼玉県SDGsパートナー登録制度」へ



住宅建築現場からフレコンバッグで運ばれてきた廃材を細かく分別。資源の再利用に努めている

企業プロフィール

社名	セイコー運輸株
本社所在地	埼玉県大里郡寄居町桜沢1370-4
代表者	代表取締役 清水 浩一
創業	昭和25年4月10日
設立	昭和59年8月14日
資本金	3,000万円
社員数	32人(うちドライバー19人)
車両数	23台

今冬は
タイヤチェーンの
脱着をラクに
しませんか?

力作業がなく老若男女問わず簡単装着
突然の降雪時にも、素早く対応可能。
軽量で収納もコンパクト
場所を取らずいざという時の備えに。
スタッドレスタイヤへの
交換コスト・労力削減にも貢献!

商品動画で扱いやすさ一目瞭然!

チェーン規制対応品
布製タイヤチェーン

トラック用 2枚入 左右兼用

品番	型式	適合タイヤサイズ	自重	税別
4370010000	KD-450	7.50R16, 225/80R17, 235/85R16, 225/80R17.5	1.4kg	19,900円(税込21,780円)
4370020000	ES-188	245/70R19.5, 265/70R19.5	2kg	23,900円(税込25,480円)
4370030000	ES-225	10.00R20, 11R22.5, 285/80R22.5, 295/80R22.5, 285/75R24.5, 295/75R24.5, 275/80R24.5	2.5kg	29,900円(税込32,780円)

適合サイズ拡大中
パーマンショップでチェックしてください。2枚用/軽自動車用 発売間近!

創業1965年
株式会社パーマンコーポレーション
〒550-0021 大阪市西区川口4-1-5
月金8:00~18:00 土00~14:30
ご注文電話 0120-202-800

品質マネジメントシステムに関する
ISO9001取得
ISO9001:2015

オンラインショップ
通販サイトへは
「パーマンショップ」
で検索!
https://pa-man.shop/

スパイラルフィルターで燃費は下げられる!!

「工場直売 だから安い!!」
「長持ち 2倍 だからすごい!!」

吸気効率 向上
出力 向上
燃費 削減

大手純正クオリティを
ダイレクト販売

建機大手純正のメーカー
工場直売品です。オイル
エア・燃料フィルタ全て
1個からのご注文OKです

全車種
対応
翌日納品

10万km走行も
馬力が落ちない。 = 燃費低減!!

一般品では
7万kmでろ材のヨリ
が起り出力低下!!

低燃費の秘密は...
フィルターの固定角度と間隔

特殊な密着防止技術でフィルター
性能を100%引き出すことに成功。
ロングライフによるコストダウン
と吸気効率UPによる燃費削減効果
で快適な運転を提供します。

愛車と燃費を守るため、研究を続けて70年

ピーコックエレメント製造株式会社
Peacock Element Manufacturing Co., Ltd.
TEL 03-3458-0891 FAX 03-3472-0095

スパイラルフィルター 検索

info@pgf-japan.com
http://www.pgf-japan.com

本社: 東京都品川区南品川4-15-4 国内拠点: 札幌/苫小牧/仙台/北関東/長野/静岡/名古屋/大阪/神戸/九州 研究所: 掛川工場 海外拠点: PGF深圳

ほんのヒトコマ



はずせない生活が続き……将来、ついに資源ごみに指定される……かも?!

法令クイズ

- (施行令第18条第3項第1号) 他の車両をけん引する場合は、尾灯及び番号灯の点灯を省略できる。
- × (施行令第20条) 夜間に対向車とすれ違つときは、前照灯の光度を減じ、またはその照射方向を下向きとすること。
- × (施行令第19条) 昼間でも、トンネルの中、濃霧がかかっている場所その他の場所で、視界が高速自動車国道及び自動車専用道路において200メートル、その他の道路においては50メートル以下であるような暗い場所を通行する場合は、灯火をつけなければならない。
- (施行令第18条第2項) 一般道路において、夜間に駐車するとき室内灯は、バスのほかは、走行中につけなければならない。
- × (教則第6章第3節夜間2-(5)) 室内灯は、バスのほかは、走行中につけなければならない。

あなたは解ける!!

(11月1日号) 答え合わせ

A	B	C	D	E	F
ウ	ン	ド	ウ	カ	イ

事業者、ドライバー、整備工場の皆さまの協力をお願いします。

「お・ち・な・い」の徹底で防ごう、大型車の車輪脱落事故

お とさない! 脱落防止はまず点検。事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ唯一かつ最善な手段です。

ち やんと清掃、ちゃんと給脂!

な ット締め、トルクレンチを必ず使用!

い ちにち一回、緩みの点検!



セミナーの第2部「実技講習」では、参加者1人ひとりが実際に点検ハンマーを使ってナットの緩みや空気圧点検の体験などを行った

大阪府トラック協会

「適切なタイヤ交換作業」と「交換後の保守管理」を学ぶ 実技講習を交え「体験型」で開催

大阪府トラック協会(中川才助会長)は10月29日、国土交通省近畿運輸局ならびに大阪運輸支局の協力の下、同支局内で「車輪脱落事故防止セミナー」を開催した。大阪府トラック協会は、近年、大型車の車輪脱落事故が増加傾向にあることから、同種事故の防止対応が急務と判断、車輪脱落を防止し、「適切なタイヤ交換作業」や「タイヤ交換後の保守管理方法」について理解を深めるため、実技講習を組み入れた「体験型セミナー」を開催した。

セミナーは、ブリヂストンタイヤソリューションジャパン(株)から派遣された講師により、第1部「座学講習」、第2部「実技講習」という2部構成のセミナーが行われた。座学講習では、①車輪脱落事故発生状況、②適切な交換作業のポイント、③交換後の保守管理のポイントについて、実技講習では、参加者全員に「新品のワッシャー付きナット」と、外観上全く異状がないものの摺動部が円滑に回転しない状態の「市場回収品(写真⑤)」とを比べてもらい、摺動部が円滑に回転しない状態を理解してもらった。これにより、参加者は当該部品の「点検の必要性」を再認識した。

また、タイヤ交換作業では、交換作業時に規定トルクで締め付けても



1人で作業可能な「自立型トルクレンチ」を使用しての増し締め体験

国土交通省

大型車の適切なタイヤ脱着・保守管理作業解説動画を公開

冬期に増加する車輪脱落事故の防止に向けて



国土交通省ではこのほど、大型車の適切なタイヤ脱着・保守管理作業解説動画(写真)を作成した。

近年、大型車の車輪脱落事故が増加傾向にある。「大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会」による調査(別掲)では、事故を起こした車両では、劣化したホイール・ナットが使用されていたり、タイヤ脱着時にホイール・ナットの清掃や潤滑剤の塗布等が適切に行われていなかったりする状況が明らかになった。

国土交通省ではこうした状況を踏まえ、大型車ユーザー等のタイヤ脱着作業が、いつでも適切なタイヤ脱着作業手順や保守管理作業手順を確認できるよう、同動画を公開し、同動画は、国土交通省YouTubeチャンネル(二次元コード)で視聴可能。

国土交通省ではタイヤ脱着作業に対して、同動画を視聴した上で、適切なタイヤ脱着作業と保守管理作業の実施を呼びかけている。

「大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会」による調査のポイント

- ▷ 令和3年度の大型トラックの車輪脱落事故件数は123件(令和2年度:131件)
- ▷ 事故発起事業者の事故発生時のタイヤ交換作業でのトルク管理に問題(トルクレンチを保有していない、締め付け時に使用していない)が生じている
- ▷ ISO方式のタイヤ交換作業時に「ナットとワッシャーとの隙間(摺動部)に給脂(エンジンオイル)が行われていないため、締結力(軸力)が得られないことによる車輪脱落事故が発生
- ▷ 上記部位に給脂すると軸力(締結力)「19t」、給脂しないと「8t」と、その差は2.4倍にもなると報道(NHK)
- ▷ ナットとワッシャーの隙間に給脂しないと、規定の締め付けトルク(50〜67kgf・m)で締め付けても、所定の軸力が得られない

[参考] 国土交通省が設置した「大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会」ホームページ(二次元コード)



ワッシャー付きナットの摺動部の不具合品(写真⑤)について、新品部品(写真⑥)と比較する体験も行った



大阪府トラック協会主催の車輪脱落事故防止セミナーは「座学講習」に加えて「実技講習」もカリキュラムに盛り込み、より実践的に行った

ISUZU

★★★★★

New Five Star GIGA

ドライバー不足への対応、コンプライアンスの遵守など、輸送ビジネスを取り巻く課題は、多岐にわたっています。

お客様の課題解決に貢献するために、

経済性/快適性/安全性/積載性/安定稼働、

いすゞGIGAに期待されている、この5つの主要性能で

お客様にとっての価値をさらに磨きあげました。

—— ニューファイブスターGIGA

お客様のビジネスへ、物流の未来へ、大きく貢献します。



カーボンニュートラル社会の実現に向け、天然ガス自動車もご用意しています。

